

科目名	神経筋疾患理学療法学	担当教員	館延忠 ※印は実務経験のある教員を示す。			
-----	------------	------	-------------------------	--	--	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	1単位	講義

科目概要	主に神経及び筋肉の変性に起因する疾患について、その病態生理を理解し、病態を考慮した理学療法評価及び基本的理学療法治療、リハビリテーションを理解することを目的とする。特に本科目では、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、ギランバレー症候群などの進行性の神経筋疾患に対し学習し理解を深める。
学習目標	各神経筋疾患の病態を理解できる。 各神経筋疾患の理学療法評価・治療を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	講義	多発性硬化症	多発性硬化症の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する	
2	講義	筋萎縮性側索硬化症	筋萎縮性側索硬化症の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する	
3	講義	ギランバレー症候群	ギランバレー症候群の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する	
4	講義	パーキンソン病 1	パーキンソン病の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する	
5	講義	パーキンソン病 2	パーキンソン病の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する	
6	講義	パーキンソン病 3	パーキンソン病の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する	
7	講義	脊髄小脳変性症 1	脊髄小脳変性症の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する	
8	講義	脊髄小脳変性症 2	脊髄小脳変性症の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		なし		
参考図書		尾上尚志 他編：病気が見える vol.7 第2版, メディックメディア		
学習の準備		授業資料などを用いしっかり復習する。		
オフィスアワー		在室時はいつでも可能。		
担当教員欄に※印を付した教員の実務経験				